

南薩地域感染症危機管理情報ネットワーク (NISE) ナイス

2026 第23週(令和8年6月1日～令和8年6月7日)

【お問合せ先】 〒897-0001 鹿児島県南さつま市加世田村原二丁目 1-1 南薩地域振興局保健福祉環境部（加世田保健所）
TEL (0993) 53-2316 / FAX (0993) 53-4519 / E-mail minami-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

★ NISE (ナイス) : Nansatsu Infectious Diseases Surveillance of Epidemiology

6月9日確認時点で、第22週における鹿児島県の麻しんの発生報告はありませんでした。全国においても11件の発生であり、麻しんの発生は減少傾向です。管内では、手足口病やヘルパンギーナが流行していますので、引き続き手洗いやうがいといった基本的な感染予防策を徹底しましょう。具体的な感染対策については、2ページ目のコラムをご確認ください。

1 定点報告疾患の発生状況

疾患名	警報		注意報 基準値	対象	18週	19週	20週	21週	22週	23週
	開始基準値	終息基準値								
急性呼吸器感染症(ARI)	-	-	-	加世田	35.00	18.50	41.50	38.00	37.50	40.50
				指宿	32.50	15.50	29.50	29.00	37.00	31.00
				県	51.95	36.44	51.39	48.68	45.09	
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	0.50	-
				県	0.23	0.11	0.19	0.02	0.11	-
COVID-19	-	-	-	加世田	-	-	0.50	-	-	1.50
				指宿	-	-	0.50	1.50	0.50	-
				県	0.44	0.51	0.89	1.60	1.49	2.05
RSウイルス感染症	-	-	-	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	1.61	1.45	0.71	0.94	1.16	1.32
咽頭結膜熱	3.00	1.00	-	加世田	-	-	1.00	-	-	-
				指宿	-	-	1.00	-	-	-
				県	1.00	0.81	1.42	1.00	1.45	1.32
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	-	加世田	4.00	-	1.00	-	2.00	1.00
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	3.32	2.26	3.16	2.74	2.16	1.77
感染性胃腸炎	20.00	12.00	-	加世田	12.00	7.00	7.00	6.00	8.00	5.00
				指宿	6.00	5.00	7.00	8.00	3.00	10.00
				県	4.48	2.97	4.35	4.29	4.00	3.61
水痘	2.00	1.00	1.00	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	2.00	1.00	1.00	-	-	-
				県	0.52	0.32	0.29	0.03	0.29	0.13
手足口病	5.00	2.00	-	加世田	11.00	7.00	6.00	4.00	4.00	21.00
				指宿	1.00	-	7.00	10.00	16.00	13.00
				県	3.19	3.81	6.13	8.45	11.32	11.35
伝染性紅斑	2.00	1.00	-	加世田	1.00	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	0.13	0.26	0.35	0.35	0.19	0.35
突発性発しん	-	-	-	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	1.00	1.00	-	1.00	-	-
				県	0.48	0.35	0.32	0.32	0.55	0.32
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	-	加世田	-	2.00	1.00	2.00	3.00	4.00
				指宿	-	-	-	5.00	10.00	10.00
				県	0.77	0.52	1.23	1.32	1.52	1.87
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	-	-	-	0.03	0.13	-

※鹿児島県のARI報告数は来週報以降に反映されます。また、データは後日訂正されることがあります。

警報 流行発生警報の基準値を超えた疾患

注意報 流行発生注意報の基準値を超えた疾患

加世田保健所	◎警報発令中 (手足口病)	○注意報発令中 (なし)
指宿保健所	(手足口病、ヘルパンギーナ)	(なし)

2 全数報告疾患の発生状況 (管内全ての医療機関から届出のあった一～五類感染症)

第23週 (6月1日～6月7日)	なし
---------------------	----

3 南薩地域で注目すべき感染症

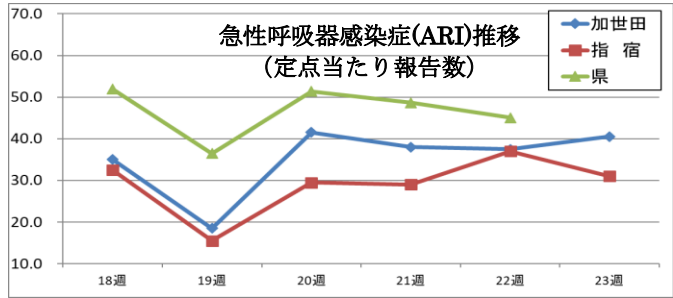
※人数は定点医からの報告数です。全体の患者報告数ではありませんので、注意してください。

急性呼吸器感染症 (ARI)

第23週の報告数は、加世田保健所管内で81人(定点当たり40.50)でした。

指宿保健所管内では、62人(定点当たり31.00)でした。

南薩地域内での年齢別報告数は、1~4歳(79人)、5~9歳(31人)、0歳(12人)の順に多く報告されています。

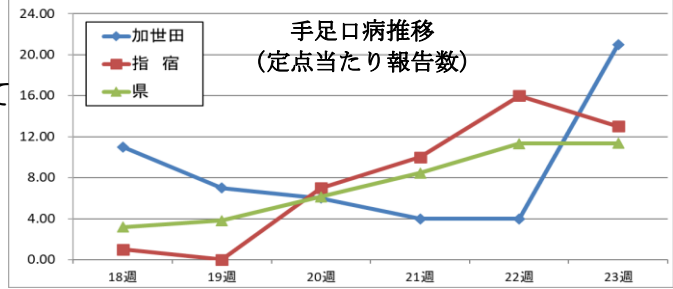


手足口病

第23週の報告数は、加世田保健所管内で21人(定点当たり21.00)と大幅に増加しています。

指宿保健所管内では、13人(定点当たり13.00)でした。

県全体では、352人(定点当たり11.35)でした。

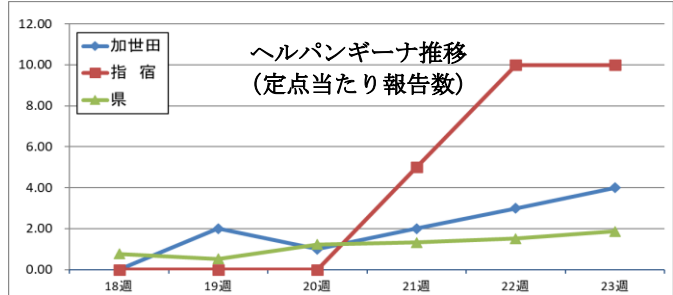


ヘルパンギーナ

第23週の報告数は、加世田保健所管内で4人(定点当たり4.00)でした。

指宿保健所管内では、10人(定点当たり10.00)でした。

県全体では、58人(定点当たり1.87)でした。



今週の話題

手足口病に続き、ヘルパンギーナが流行しています。

1 ヘルパンギーナってどんな病気?

ヘルパンギーナは、発熱とのどの痛み、のどの奥の周りに発赤を伴う小さい水疱が現れる急性のウイルス性咽頭炎であり、「夏かぜ」の一種です。乳幼児を中心に夏季に流行します。患者の年齢は5歳以下が全体の90%以上を占めます。原因ウイルスは、エンテロウイルス属に属するコクサッキーウイルスA群やコクサッキーウイルスB群、エコーウイルスです。



手足口病と同じウイルス属が原因の感染症です。

2 ヘルパンギーナの臨床症状

2~4日の潜伏期間を経て、発熱、のどの痛み、水疱が出現します。発熱については2~4日間程度で解熱します。発熱時に熱性けいれんを伴ったり、口腔内の痛みによる不機嫌、拒食、哺乳障害を起こしやすく、それによる脱水症状を呈したりすることがありますが、ほとんどは予後良好です。

手足口病やヘルパンギーナの原因ウイルスであるエンテロウイルスによる感染症は、多様な症状を示す疾患であり、まれに無菌性髄膜炎や急性心筋炎などを合併することがあります。

3 治療、感染経路および感染予防について

ヘルパンギーナに対する有効なワクチンや治療薬はありません。基本的には軽い症状の病気のため、経過観察を含め、症状に応じた治療になります。主な感染経路は経口感染、糞口感染(便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って感染すること)、接触感染、飛沫感染です。飛沫や鼻汁からは1~2週間、便からは数週~数か月間、ウイルスが排泄されるといわれています。具体的な感染予防対策は、手洗い・うがいをしっかりとすること、タオルを共有しないこと、遊具やおもちゃを消毒すること、おむつ交換などの排便処理の際には手袋をすることです。

参考: ヘルパンギーナ | 厚生労働省